

小学校 1年

福井県の1年生と友だちになろう

東大阪市立意岐部東小学校

教科

生活

単元名

見てね 聞いてね

本時のねらい

- ・遠隔地の福井県の1年生と友だちになり、お互いのことを知る。
- ・自分の作ったおもちゃを紹介したり、大阪と福井の季節や食べ物のがいに気がついたりしていききっかけづくりをする。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・遠隔地とのリモート交流に慣れ、オンライン環境で相手と話したり、話を聞いたりすることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Zoom アプリ
- ・マイクスピーカー
- ・電子黒板

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○交流先の学校とリモートでつながっているか確認する。 それぞれの教室で事前に動物カードを配って置いて、同じ動物の児童どうしがペアになる。 【写真1】	○画面に向かって、自分の名前カードや動物カードを見せ合う。 ○マイクスピーカーを教室の中央に置き、相手の学校の様々な児童のつぶやき（発言）を聞き取れるようにする。 ○発表するときは、ジェスチャー等での「聞こえたサイン」をあらかじめ決めておく。
展開 (25分)	○一人ずつ自己紹介をする。 ○じゃんけんゲームをする ※同じ動物のペアどうして自己紹介をした後、じゃんけんをする。 【写真2】	○一人ずつ画面の前に行き、パソコンのカメラに向かって話す。 ○マイクがひろいやすい声の大きさになるようにする。
まとめ (15分)	○ふりかえりを書いて発表する。 【写真3】	

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】ひとりずつ自己紹介をしている様子



【写真2】じゃんけんゲームで拍手をしている様子



【写真3】ふりかえりを書いている様子

児童生徒の反応や変容

- ・子どもたちは福井県の1年生の姿を見ることができて、とても嬉しそうにいました。カメラを見て話すことや、一人ずつ話すことなどは、回を増すごとに慣れていきました。この交流の後、ペアの友だちの名前を憶えて、「お手紙を書きたい」と言い始めていました。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・たくさんのおもちゃやものとの出会いや関わりを大切にするため、地域の人やゲストティーチャー、他の小学校との交流などを行っています。しかし、リモート交流の授業では、いつもの授業や交流とは少しルールが異なります。一人ずつ画面の前に出たり、マイクがひろいやすい声の音量で話したり、音声が届かなかったときには手でサインを送ったりします。そのため、交流したい本題に行くまでに、何度かリモートの練習が必要だと感じました。
- ・後日、再度行ったリモート交流では、秋の自然を使い、工夫して作った自分のおもちゃを、国語科の学習とつなげて、福井県の友だちに伝えることができました。